



筑波大学東京キャンパス文京校舎 施設概要



平成23年9月28日

筑波大学



設計コンセプト

- 地域や豊かな木立と融和し歴史・風格のある学び舎
- 木々に合わせて極力抑えた建物高さ
- 木立になじむルーバーや質感のある材料による外観
- 省エネに配慮し高い環境性能をもつ施設設計
- 社会人の学びの場＝生涯学習の拠点として開かれた大学



I 概要

所在地	東京都文京区大塚 3-29-1
敷地面積	12,997.70 m ²
建築面積	3,875.18 m ²
延べ面積	21,990 m ²
(筑波大学)	16,049 m ²
(放送大学)	5,941 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地下1階、地上6階
工期	平成22年3月～ 平成23年8月
総工事費（旧校舎解体、外構工事含）	6,360 百万円
(筑波大学)	4,783 百万円
(放送大学)	1,577 百万円

屋上階				
6階	屋上緑化	教員研究室	教員研究室 ラウンジ	ホール
5階		教員研究室	弁護士事務所 ラウンジ	ホール
4階		教員研究室	教員研究室 ラウンジ	ホール
3階	放送大学	教員研究室	事務室 ラウンジ	ホール
2階	放送大学	中庭	放送大学 ラウンジ	ホール
1階		理療科	大講義室	ホール ラウンジ
地下1階		図書館	ライト コート 大講義室	ホール



Ⅱ 省エネ対策等の具体的取り組み

【 建 築 】

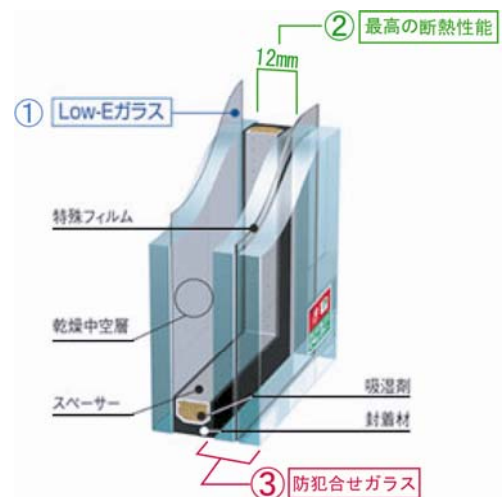
- 全外部建具に高断熱性能ガラスの使用
- 外部からの熱の侵入防止対策
 - ・ 遮熱塗料
 - ・ 木調ルーバーによる日射対策
 - ・ 屋上緑化
- 外壁、屋根の断熱材を強化
- 透水性アスファルト等によるヒートアイランド現象の緩和



3階 学生ホール



屋上緑化(中庭)



外部建具 ガラスのイメージ

【電気設備】

- LED照明及び高効率照明の採用
(従来比約40%削減)
- 利用形態にあわせた照明点灯区分
 - ・ スイッチ回路細分化による必要エリア点灯
 - ・ 中央(警備員室)における集中管理
- 電力の使用量把握
 - ・ デマンド監視設備による電力監視
 - ・ 各室ごとに電力使用量を把握
集中検針設備による「電力見える化」
- 高効率機器・エコ材料等の採用

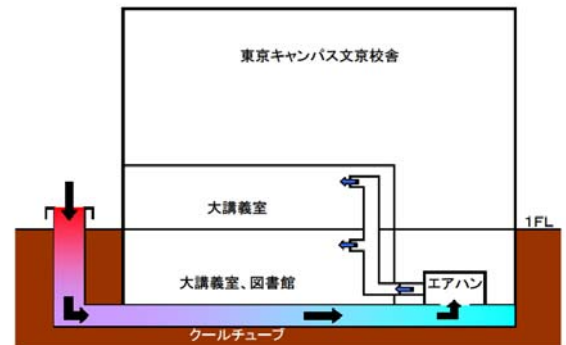


1階エントランス



【機械設備】

- クール・ヒートチューブの採用
地下10mにチューブを通し、取り入れた外気を年間一定の約17°Cとし、空調負荷効率を向上
- 使用電力管理システムの導入
デマンドコントロールによる空調設備の制御
- 高効率型空調機の採用
屋上室外機廻りに水(ミスト・霧状)を散布し、打ち水効果による冷却効率を向上(試験値10%の負荷低減)
- 夜間電力を利用した氷蓄熱型空調機の採用
- 超節水型衛生器具、無水小便器(洗浄水レス)の導入
(従来型13ℓに対し6ℓで洗浄)
- 雨水再利用設備の導入
屋上等緑化散水用



Ⅲ バリアフリー対策その他の取り組み

- ・正門からエントランスホールまで無段差
- ・正門からエントランスまで光る点字ブロック及び音声案内装置による誘導
- ・大型エレベータ設置
- ・各フロアに多目的トイレを設置。1階はオストメイト対応
- ・弱視者の負担にならない低輝度な光源照明を選定
- ・災害時防災トイレ対応マンホール設置
- ・雨水貯留槽設置(豪雨対策、災害時2次利用)
(建物地下:550t、敷地北側地下:250t)
- ・ICカードキーによる全館入退室管理システムの導入
- ・防犯カメラ設置(屋外、図書館、エントランスホール等)
- ・個別空調室内機は自動フィルター清掃機能付き